

中経

論壇

経営支援NPOクラブ
川上 博史



森林監督の手腕に学ぶ

チームや自分に出会える」などであるが、これら的话题を聞いて、だ。現在、当社は80代2人を含む70代以上のシニアが5人いて、「高校野球」をいる一方、ベトナム特定技能「会社」に置き換えても全く違和感がないことに気がついた。従来の常識を超えた者も多い。男子社員の育休取得得や女子社員の管理職登用、1時間単位の有給取得などさ

考え方を柔軟に受け入れ、新たな挑戦をしようとするチーム、メンバー相互に信頼し合えるチーム、多様な人々の価値観、個性を受け入れることができるチームをつくろうとするリーダーたちに捧げたい言葉だ。

さまざまな制度を大胆に行つていることが評価され、埼玉県から「多様な働き方実践企業プラチナ」の認定を受けている。常にオープンな雰囲気で上下の別なく、何でも話しあえる職場をつくっていきたいと思っているが、現場作業では相互の意思疎通を欠いて時々ミスも発生している。そこで月1回の全体朝礼で、従来

私事だが、大企業を卒業後、中小企業の経営に携わるようになつて10年経ち、改めて思うことは

から継続の「良かつた探し」に加えて「明日のために失敗をオーブンに」を始めた。森林監督の手腕から学び、失敗事例が続々と現場から出てく

この夏の猛暑の中ひと際
大きな反響を誘ったのは、エ
ンジョイベースボールを掲げ
て甲子園で107年ぶりの優
勝を果たした慶應義塾高等学
校である。選手一人一人の伸
び伸びとしたプレイ、全力を
出し切つて試合に打ち込む姿
勢、ベンチやスタンドで選手
たちを見守り、大声援を送る
人々にも感動させられたが、
今大会は森林貴彦監督の高校
野球に対する基本的な考え方
方、選手たちへの接し方、指
導方法やその言動に感銘を受

けた人が多いのではないか。うか。

失敗、困難、競争を楽しむ